

2024年(令和6年)1月9日(火曜日)

電波新聞

西菱電機が神戸市に ハイブリッド 拡声子局を納入

【神戸】西菱電機はこのほど、災害時でも輻輳(ふくそう)のな



無線システム
ハイブリッド型同報

い防災行政無線回線と携帯電話回線(LTE)で通信を二重化するハイブリッド型同報無線システム「ハイブリッド拡声子局」を神戸市に納入した。JR三ノ宮駅北側広場で運用が開始された。

同システムは、防災行政無線回線に加え、LTEをバックアップ回線とすることで、通信途絶などのリスクが回避できるほか、不感エリアへの防災情報の配信を可能とする。納入は、JR三ノ宮駅南

側の再開発に伴い、複合商業施設ミント神戸前に設置されていた拡声子局を廃止し、同駅北側に新設された。

今後建設される高層ビルなどの影響により電波環境が変化した場合においても、LTE回線のバックアップにより安定的な放送を実現。拡声子局に防災用高性能スピーカーを採用したことで、音距離が従来の約1.5〜2.0倍となった。近くでは優しく、遠くでもはっきり聞こえることが特徴だ。